

前田・植村・小牧・鹿大丸JVで着工

鹿児島共栄火災ビル新築地鎮祭

共栄火災海上

共栄火災海上(株)は鹿児島市に「(仮称)鹿児島共栄火災ビル」の新築を計画、このほど施工業者を前田建設工業・植村組・小牧建設・鹿大丸建設JVに決め、16日、鹿児島市の現地で地鎮祭を行



刈り初めの儀を行う大矢常務(上)、乾杯し無事故を祈る出席者＝鹿児島市の現地で

を捧げ、工事の無事故無災害を祈った。直会では、大矢常務が「同社は、これまで2代続けて鹿児島県出身の方が社長を務め、鹿児島とはつながりが強いと感じています。本日祈願祭を実施し、工事が進み完成すること、昭和49年に建設された旧社屋から新しい事務所に移りますが、施工を担当する企業の皆さんも安全第一で施工をお願いいたします」と述べ、青木常務や佐藤取締役が「無事故無災害で引き渡せるように努めたい」、「JVが力を合わせ完成を目指したい」とそれぞれ挨拶した。このあと、本田耕治鹿児島ダイハツ販売(株)社長の乾杯の音頭で開宴した。

同施設は、鹿児島市中央町29-1、2、3の敷地にS造3階一部4階建延べ1517・55平方メートルの事務所を建設する。工期は11月末。



完成を祝い、テープカットをする関係者＝鹿児島市の現地で

山本・松・自転車等駐車場開所式

都市景観の向上に期待

鹿児島市

鹿児島市山本之口及び二本松自転車等駐車場がこのほど完成し、16日に同市山本之口町で開所式が開かれ、行政や町内会の関係者がテープカットをして施設のオープンをした。

祝った。

山本之口駐車場で行われた式典では、赤崎義則鹿児島市長が「駐輪場整備により、行政や町内会の関係者がテープカットをして施設のオープンをした。

オープンを祝った後、出席者らは施設内を見学して充実振りに関心を寄せていた。山本之口駐車場はS造2階建延べ553・70平方メートル、自動ゲート、搬送コンベア、2段式サイクルラック等を備え、自転車284台、バイク112台の合計396台の収容が可能。用地取得及び建設費は約3億2200万円。また、二本松駐車場はS造2階建て465・13平方メートル、個別ロック式駐輪機を備え、自転車133台、バイク57台の合計190台の収容が可能。総事業費は約2億1500万円。



誓いの言葉を力強く述べる南さん＝鹿児島市の同校で

鹿児島インテリアスクール入校式

5人が技能士目指す

鹿児島インテリアスクール(田中校長)は16日、鹿児島市玉里町の同校で15年度第12期生入校式を行い、新入生5人が入校し、高度な知識と技能習得を目指し新たなスタートを切った。式では新入生紹介の後、田中校長が「今年度から前期・後期に分けた新システムで指導することになった。皆さんは、各事業所のご理解のもと、知識と技能、職業人としての人格育成などを学ぶ機会を得たことに感謝し、途中で挫折することなく2年間の課程をやり遂げていただきたい」と式辞。安部武典県室内装飾協同組合理事長も「初心を忘れずに取り組み、技能習得を目指して最後まで頑張ってください」と励ましの言葉を寄せた。

続いて、来賓の山下進県商工観光労働部労働政策課長らが祝辞を寄せた後、入校生を代表して南啓一郎さんが誓いの言葉を力強く述べた。

新入生は次の通り。小村直樹(南インテリアコムラ) 崎野雄太(南インテリアアケイ) 田原春昭人(南つきの) 中村誠(南日本家具工芸) 南啓一郎(南和インテリア)

寸法・曲強度中心に

シートックが製品集中検査

同社敷地内で伊集院土木事務所、加世田耕地事務所をはじめ、指宿市、坊津町、瀬田町、吹上町など近隣市町の担当者ら約15人の立ち会いのもとで第2回製品集中検査を実施した。

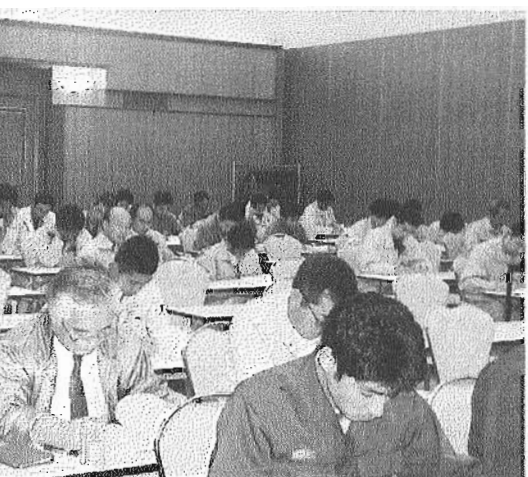
製品集中検査は、同社が製造するコンクリート2次製品の主力・新製品を、所轄官庁の担当者が一緒に検査することで、発注者側にも強度・耐久性などを理解してもらうことを目的に、14年度から実施している。

検査を前に森社長が「同業他社との差別化と、良質の製品を提供するべく製品集中検査を始めて、今回で2回目となるが、検査の基本は直に製品を見て触ってもらい、一緒に立ち会っていただくことで製品を理解してもらいたい」と考えている。また、当社としては製品集中検査をイベント的なものと位置付け、これからも継続していきたいと考えているので、ぜひとも今日は楽しく検査をしていただきたい」と挨拶。

続いて、花立廣美販売本部部長が概要説明をして、参加者の注目が集まっていた。

設計・施工指針改訂学ぶ

法枠工 全国特定法面保護協会県支部 技術講習会



工法の施工管理等について聴講する参加者＝鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで

ルウェルビューかごしま員ら約100人が出席して技術講習会を開き、会場で構造物工・植生工の施工管理について熱心に学んだ。

講習会の冒頭、久保支部長が「今年1月から自然再生推進法が施行されたことを受け、自然環境再生を目標に掲げて取り組んでいかなければならない。今回の講習会で法改訂や各工法の施工管理等を十分理解して頂き、各会員の技術の向上に努めて頂きたい」と挨拶。

続いて講習に入り、同協会本部技術委員の青木和夫氏が「構造物工の施工管理のポイント」、同協会本部技術委員長の相田氏が「植生工の施工管理のポイント」をそれぞれ講演を行った。



検査に興味深く見守る参加者＝枕崎市の同本社で

製品集中検査は、同社が製造するコンクリート2次製品の主力・新製品を、所轄官庁の担当者が一緒に検査することで、発注者側にも強度・耐久性などを理解してもらうことを目的に、14年度から実施している。

検査を前に森社長が「同業他社との差別化と、良質の製品を提供するべく製品集中検査を始めて、今回で2回目となるが、検査の基本は直に製品を見て触ってもらい、一緒に立ち会っていただくことで製品を理解してもらいたい」と考えている。また、当社としては製品集中検査をイベント的なものと位置付け、これからも継続していきたいと考えているので、ぜひとも今日は楽しく検査をしていただきたい」と挨拶。

続いて、花立廣美販売本部部長が概要説明をして、参加者の注目が集まっていた。